

恵みの泉

＜聖書のことばより＞9月

イエスは話し終わった時、シモンに「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなさい」と言われた。シモンは、「先生、わたしたちは夜通し苦勞しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」と答えた。
(ルカによる福音書5章4節)

「わたしたちは夜通し苦勞しました」と漁師のシモン。一晩中いつもの湖で漁をしても、この日はまったく成果があがらなかったのです。

「もうお手上げ」と、あきらめたくなる時がわたしたちの人生にもあります。何も努力しなかったのではありません。あれこれ手を尽くしたけれどどうにもならなかったのです。

子育て中も何度か「お手上げ」を経験します。泣き出す子を夫婦で代わる代わる抱っこするが泣き止まないとか、意図せず子どもの心を傷つけ、取り返しがつかないと自分を責め悩むとか、駆け回る子どもたちを一人で見ると疲れ果ててしまったとか。

この晩、八方手を尽くし疲れ果てていたシモンは、イエスの「沖に漕ぎ出し、漁をなさい」との命令に、「お言葉ですから」と再び船を漕ぎだしました。自分の力はすべて出し切っていたはず。それでも漁に出ると、網が破れるほどの大漁に。

わたしなら「もう限界」と言い張ったかもしれません。シモンもきっとそう思っていたでしょう。でも、主がおっしゃった、ただそのゆえに聞き従ったのです。すると、「限界」が「恵みの泉」に変えられた。

子育てとは「恵みの泉」に出会う営みです。大人の力がついでたその場所で、「もう一度!」。その言葉に従って、子どもに向かってもう一度網を降ろしてみる。そこに必ず、恵みの泉は湧き上がる。そう、聖書は伝えます。

(つくし保育園園長 つだかずお)

＜お庭のチャペル 礼拝のご案内＞

毎週日曜日午前10時30分 だいが教会

聖書のたのしいお話と讃美歌

はじめての方も心より歓迎します。